

修証義御和讃

伝承曲
作詞 大内 青巒
編曲 平林 龍

(一) 生々世々の罪咎は
深雪のごとくふかくとも
悔ゆる心の朝日には
消えて跡なくなりぬべし

(二) 三世諸仏の戒法を
正しく受けて疑わぬ
つとむるこの身は仏なり
我が身ながらに尊しや

(三) 我は仏にならずとも
生きとし生けるものみなを
もろさず救いたすけん
誓うところぞ仏なる

(四) 今日(けふ)の命(いのち)を喜び
まことの行持(ぎょうぢ)通達(つうたつ)きて
仏(ほとけ)の深き御恩(みおん)
報(むく)い奉(まつ)るぞたのしけれ

Am Am7 Am6 Asus4 Am7 Dm/A Am Dm/A Am/G Dm/G Am7/G Gsus4 FM7

ふりにしよよのつみとが
みよのほとけにならざと
われは(7)ほいとけにな
きよ(オ)うのいのちをよ
ろこび

ふりにしよよのつみとが
みよのほとけにみおと
われは(7)ほいとけにみ
きよ(オ)うのいのちをよ
ろこび

Em7 C/E Em7 C/E C9/D Gsus4/E F9 G9 FM7 Em7

は(7)みゆきのこくとくふかくと
をまきしくうけてうたがわ
もまいきしうけるのみな
つまことのとくらしつらぬき

は(7)みまゆきしくのこくとくふかくと
をまいまきしとくのうけてうたがわ
もまいまきしとくのうけてうたがわ
つまことのとくらしつらぬき

D/F# Gsus4 E/G# Am7 Am/G FM7

もぬをて くゆるこころのあさとひに
つもとむさずのここのみはいほたとすひに
ほとむさずのここのみはいほたとすひに

Em7 C/E Em7 C/E C9/D Gsus4/E F9 G9 FM7 Em7 To Coda

は(7)きえてあとなくなりぬべ
りわがみながらにとう(オ)とし
とちか(コ)う(オ)こころぞほとけな
にむくいまつるぞたのしけ

は(7)きえてあとなくなりぬべ
りわがみながらにとう(オ)とし
とちか(コ)う(オ)こころぞほとけな
にむくいまつるぞたのしけ

1. 3. D/F# Gsus4 E/G# 2. D/F# Gsus4 E/G# D/F# Gsus4 E/G# FM7

しやれ
る

しやれ
る

rit.
D.C.